

地方独立行政法人大阪市民病院機構
第2期中期目標期間(見込)の業務実績に関する評価
(案)

第2期(平成31年4月1日～令和6年3月31日)

令和5年7月

大阪市

全体評価

第2期中期目標期間の業務については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、全体として、計画どおり進捗しており、中期目標を達成できる見込である。

●地方独立行政法人大阪市民病院機構は、平成26年度の設立から平成30年度までの第1期中期目標期間においては、地方独立行政法人制度の特長である自律性・機動性を最大限発揮し、透明性を高め、続く令和元年度からの第2期中期目標期間では、各病院等において診療機能のより一層の充実・強化や患者サービスの向上、地域医療連携の推進など大阪市の医療施策として担うべき役割の実施に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症への対応にあたっては、行政からの要請に基づき、通常医療との両立を図りながら公的医療機関として求められる役割を果たした。

また、法人全体としても優秀な人材の確保などに取り組むとともに、業務運営の効率化など、法人経営の基盤強化に努めた点は高く評価できる。

●第2『市民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項』

中期目標の達成に向け、優秀な人材の確保・育成に取組み、各病院等においてはその専門性を活かして診療機能のより一層の充実・強化や患者サービスの向上、地域医療連携の推進、業務運営の効率化などに取組んだ。

(特に成果があった取組み等)

○ 診療機能の充実

【総合医療センター】

- ・内視鏡手術支援ロボットの入れ替え及び2台体制への移行
- ・がんゲノム医療の充実
- ・夜間ホスピタルサポーターを導入し、人員が手薄になる準夜勤務帯の看護職員の負担軽減を実施

【十三市民病院】

- ・新型コロナウイルス感染症専門病院としての運営

●第3 『業務運営の改善及び効率化並びに財務内容の改善に関する事項』

中期目標の達成に向け、理事会、院内委員会等を定期的に開催し、活発な議論を展開するとともに迅速な意思決定を図った。各病院においては、業務運営の改善や効率化に向け、病院長をはじめとする病院幹部が職員に経営状況等を発信するとともに病院運営の課題を共有し、対応策の検討を行い、長期的視点に立った質の高い経営の実現に取り組んだ。

(特に成果があった取り組み等)

- ・各病院において在院日数の短縮化を図る中で、救急患者の積極的な受け入れや地域医療機関との連携強化による緊急入院を含む新入院患者が増加し、診療単価のアップにもつながった。
- ・医業収支比率は、令和元年度は総合医療センターでは第2期計画目標を上回り、十三市民病院は概ね目標に達した。令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受け、医業損益では大幅な赤字となったが、純損益では新型コロナウイルス感染症関連の補助金収入により黒字となった。

第2 市民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項		事業年度評価結果					中期目標期間の見込評価																																																		
		R元	R2	R3	R4	R5																																																			
中期目標	中期計画	A	A	A	B	—	A																																																		
<p>1 求められる医療の提供</p> <p>(1) 病院等の役割に応じた医療施策の実施</p> <p>① 5疾病及び4事業を中心に政策医療や地域で不足する医療などの実施</p>	<p>1 求められる医療の提供</p> <p>(1) 救急医療(総合医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターとして三次救急医療を提供、救急隊や地域医療機関から緊急診療要請のある重症患者の受入対応 <p>(2) 周産期医療(総合医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合周産期母子医療センターとして、合併症妊娠、重症妊産婦などリスクの高い妊婦や1,000g未満の超低出生体重児、先天性疾患のある新生児への対応 OGCS(産婦人科診療相互援助システム)及びNMCS(新生児診療相互援助システム)の基幹病院として、周産期緊急医療体制確保の取組 <p>(3) 小児医療(総合医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児がん拠点病院として、広域で小児がん診療の中心的な役割を担う 総合病院の強みを活かした、小児期からの移行が課題とされているAYA世代(思春期、若年成人期)に対する支援の取組 	<p>【実績】</p> <p>■ 救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターで、24時間365日の三次救急医療を提供 三次救命救急センターとして、重症患者の受入対応 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車搬送件数(件)</td> <td>4,644</td> <td>3,611</td> <td>4,407</td> <td>4,697</td> </tr> <tr> <td>三次救急取扱件数(件)</td> <td>999</td> <td>685</td> <td>1,057</td> <td>1,080</td> </tr> <tr> <td>小児救急取扱件数(件)</td> <td>2,805</td> <td>1,567</td> <td>2,045</td> <td>2,307</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 総合周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合周産期母子医療センターとして、ハイリスク分娩、1,000g未満の超低出生体重児への対応など高度な周産期医療を提供 NICUリニューアルオープン【R元年度】 新分娩室オープン【R元年度】 母児同室運用開始【R2年度】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OGCS取扱件数(件)</td> <td>135</td> <td>108</td> <td>147</td> <td>191</td> </tr> <tr> <td>NMCS取扱件数(件)</td> <td>146</td> <td>155</td> <td>171</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>1,000g未満の超低出生体重児対応件数(件)</td> <td>30</td> <td>23</td> <td>20</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 小児の高度専門医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児がん拠点病院として更新指定【R元年度】 約20の小児系診療科において高度かつ専門的な小児医療を提供 新型コロナウイルス感染症対応のため一時閉鎖していたAYA世代病棟を再開【R3年度】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児がん登録件数(件)</td> <td>78</td> <td>88</td> <td>85</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>AYA世代病棟入院患者数(人)</td> <td>617</td> <td>450</td> <td>807</td> <td>915</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	救急車搬送件数(件)	4,644	3,611	4,407	4,697	三次救急取扱件数(件)	999	685	1,057	1,080	小児救急取扱件数(件)	2,805	1,567	2,045	2,307	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	OGCS取扱件数(件)	135	108	147	191	NMCS取扱件数(件)	146	155	171	252	1,000g未満の超低出生体重児対応件数(件)	30	23	20	25	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	小児がん登録件数(件)	78	88	85	74	AYA世代病棟入院患者数(人)	617	450	807	915
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																																					
救急車搬送件数(件)	4,644	3,611	4,407	4,697																																																					
三次救急取扱件数(件)	999	685	1,057	1,080																																																					
小児救急取扱件数(件)	2,805	1,567	2,045	2,307																																																					
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																																					
OGCS取扱件数(件)	135	108	147	191																																																					
NMCS取扱件数(件)	146	155	171	252																																																					
1,000g未満の超低出生体重児対応件数(件)	30	23	20	25																																																					
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																																					
小児がん登録件数(件)	78	88	85	74																																																					
AYA世代病棟入院患者数(人)	617	450	807	915																																																					

中期目標	中期計画	実績・特に成果があった取組み等・今後の取組み																									
<p>② がん医療における、手術、放射線治療及び薬物療法などを効果的に組合せた集学的治療や緩和ケア医療の提供</p>	<p>(4) がん医療(総合医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域がん診療連携拠点病院として、手術・放射線治療及び薬物療法を効果的に組み合わせた集学的治療の提供 ・ がんゲノム医療連携病院としてがんゲノム医療の提供 ・ がん患者に対する緩和医療の提供とがん医療に関する情報発信、セカンドオピニオン、就労支援など相談・支援の充実 <p>(5) その他の医療(総合医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合病院の特性を活かした、精神科救急・合併症医療の提供 	<p>■ がん医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手術・放射線治療及び薬物療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供 ・ 地域がん診療連携拠点病院(高度型)として指定【R元年度】 ・ 小児がん拠点病院として更新指定【R元年度】 ・ がんゲノム医療拠点病院として指定【R元年度】 ・ がんゲノム医療に関わる各部署の連携を図るため、がんゲノム医療センターを設置【R元年度】、がんゲノム医療拠点病院対策委員会を設置【R2年度】 ・ がんゲノム医療外来を開設【R元年度】 ・ がん医療支援センター創設【R元年度】 ・ がん相談支援センターでの相談対応のほか、がん相談員研修修了者が各現場での個別相談に対応 ・ がんサロンを定例化し、ピアサポート充実のための体制整備 ・ 緩和ケアセンターにおける、診断時からの意思決定支援と家族ケア、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)などサポート体制の充実 <table border="1" data-bbox="1335 783 2047 924"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん入院患者数(人)</td> <td>6,344</td> <td>6,246</td> <td>6,368</td> <td>5,892</td> </tr> <tr> <td>がん登録件数(件)</td> <td>3,042</td> <td>2,964</td> <td>2,784</td> <td>2,676</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数(件)</td> <td>10,133</td> <td>10,397</td> <td>10,098</td> <td>9,145</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法件数(件)</td> <td>13,303</td> <td>14,124</td> <td>13,855</td> <td>14,441</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 精神科救急・合併症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科病床を有する大規模総合病院の特色を活かし、他の診療科と連携した精神科リエゾン・コンサルテーションを実施 ・ 身体的な合併症を発生した他施設の精神科入院患者の受入れを行うとともに、緊急措置入院を含めた精神科救急入院にも24時間体制で対応 	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	がん入院患者数(人)	6,344	6,246	6,368	5,892	がん登録件数(件)	3,042	2,964	2,784	2,676	放射線治療件数(件)	10,133	10,397	10,098	9,145	外来化学療法件数(件)	13,303	14,124	13,855	14,441
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																							
がん入院患者数(人)	6,344	6,246	6,368	5,892																							
がん登録件数(件)	3,042	2,964	2,784	2,676																							
放射線治療件数(件)	10,133	10,397	10,098	9,145																							
外来化学療法件数(件)	13,303	14,124	13,855	14,441																							

中期目標	中期計画	実績・特に成果があった取組み等・今後の取組み																																								
<p>③ 新興感染症の集団発生など大規模感染症の発生時における、関係機関との連携と先導的役割の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一類・二類感染症、新興感染症等への迅速な対応、集団発生等の大規模感染症発生時における円滑な対応 ・ ロボット・内視鏡下手術などの低侵襲治療の提供 <p>(6) 結核医療(十三市民病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 結核医療を含む呼吸器医療の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 感染症医療 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪市内で唯一の第一種感染症病床1床を有し、一類感染症発生への対応に備えている ・ 新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、新型コロナウイルス感染症重症・中等症患者の受入に適切に対応【R2年度～】 ■ 高度・専門的医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内視鏡手術支援ロボットの入れ替え及び2台体制への移行【R元年度】 ・ 婦人科領域におけるロボット手術症例見学施設に認定【R元年度】 ・ 365日24時間体制で脳卒中患者を受入れる施設として、「一次脳卒中センター」に認定【R元年度】、「一次脳卒中センターコア施設」に認定【R2年度】 <table border="1" data-bbox="1335 619 2047 844"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>精神科身体合併症受入件数(件)</td> <td>82</td> <td>124</td> <td>112</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>低侵襲治療実施件数(ダヴィンチ)(件)</td> <td>298</td> <td>432</td> <td>398</td> <td>408</td> </tr> <tr> <td>低侵襲治療実施件数(TAVI)(件)</td> <td>56</td> <td>49</td> <td>49</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>手術件数(件)</td> <td>12,620</td> <td>10,645</td> <td>10,549</td> <td>11,544</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ■ 結核医療 <ul style="list-style-type: none"> ・ 結核病床(39床)での結核医療の提供 ・ 新型コロナウイルス感染症患者の受入に伴い、結核患者の受入を休止【R2年3月～】 ■ 合併症にも対応した結核医療 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消化器系疾患のほか、循環器系、泌尿器系、整形外科、呼吸器等、広範囲に渡る合併症患者に対応 ■ 新型コロナウイルス感染症対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、新型コロナウイルス感染症軽症・中等症患者の受入に適切に対応【R2年度～】 <table border="1" data-bbox="1335 1310 2047 1422"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核延入院患者数(人)</td> <td>11,090</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合併症を有する結核新入院患者数(人)</td> <td>173</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	精神科身体合併症受入件数(件)	82	124	112	66	低侵襲治療実施件数(ダヴィンチ)(件)	298	432	398	408	低侵襲治療実施件数(TAVI)(件)	56	49	49	60	手術件数(件)	12,620	10,645	10,549	11,544	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	結核延入院患者数(人)	11,090	-	-	-	合併症を有する結核新入院患者数(人)	173	-	-	-
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																						
精神科身体合併症受入件数(件)	82	124	112	66																																						
低侵襲治療実施件数(ダヴィンチ)(件)	298	432	398	408																																						
低侵襲治療実施件数(TAVI)(件)	56	49	49	60																																						
手術件数(件)	12,620	10,645	10,549	11,544																																						
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																						
結核延入院患者数(人)	11,090	-	-	-																																						
合併症を有する結核新入院患者数(人)	173	-	-	-																																						

中期目標	中期計画	実績・特に成果があった取組み等・今後の取組み																																			
<p>④ 住吉市民病院跡地に暫定的に開設した診療所において、小児・周産期の一次医療に対応</p> <p>(2) 災害時の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時において、大阪市地域防災計画に基づき、患者を受け入れるとともに、医療救護班を編成し現地に派遣して医療救護活動を実施 	<p>(7) その他の医療(十三市民病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療機関と連携を進め、地域の医療ニーズに対応した急性期医療の提供(内科系二次救急、緊急診療要請対応) <p>(8) その他の医療(住之江診療所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住吉市民病院跡地に暫定的に住之江診療所を設け、小児・周産期の一次医療を提供 <p>(9) 災害時の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害拠点病院(総合医療センター)、市町村災害医療センター(十三市民病院)としての迅速な対応 DMAT(災害派遣医療チーム)を編成し、災害等発生時に対応できるよう、専門的な訓練への参加 医薬品など医療物資や水、食料の備蓄、諸設備の維持管理、防災訓練や災害医療訓練の実施 	<p>■ 急性期医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携室の設置【R元年度】 内科系二次救急医療機関として、365日24時間対応で救急搬送要請を受入 大阪府がん診療拠点病院の指定【R2年度】 <table border="1" data-bbox="1335 391 2047 502"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車搬送件数(件)</td> <td>1,042</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>地域医療機関からの緊急診療要請対応件数(件)</td> <td>1,160</td> <td>123</td> <td>192</td> <td>247</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 小児・周産期医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内に新設した暫定診療所に移転【R元年度】 引き続き小児・周産期の一次医療を提供 <p>■ 新型コロナウイルス感染症対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 発熱患者の診療・検査医療機関として指定【R2年度～】 <table border="1" data-bbox="1335 785 2047 896"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来延患者数(人)</td> <td>3,922</td> <td>3,464</td> <td>3,684</td> <td>4,841</td> </tr> <tr> <td>うち小児科延患者数(人)</td> <td>2,756</td> <td>2,161</td> <td>2,766</td> <td>4,186</td> </tr> <tr> <td>うち産婦人科延患者数(人)</td> <td>1,166</td> <td>1,303</td> <td>918</td> <td>655</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 災害拠点病院、市町村災害医療センターとしての取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 医薬品など医療物資や水、食料の備蓄 総合医療センターにDMAT隊出動時にも使用できる高規格救急自動車を配備【R元年度】 首都直下型地震を想定した大規模地震時医療活動訓練に参加【R元年度】 災害対策訓練、BCP(事業継続計画)に関する機能訓練の実施【R2年度】 NBC災害・CBRNテロ対策研修の実施【R3年度】 災害用備蓄品を旧医師宿舎に備蓄【R4年度】 災害医療協力病院等とともに、災害対策訓練を実施 総合医療センターにおいて、高度化・多様化するサイバー攻撃に対応するため、不正接続監視システムを導入【R4年度】 十三市民病院において、不正接続防止システムの導入や大規模災害、特に地震・風水害を視野に入れたBCPを策定【R4年度】 	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	救急車搬送件数(件)	1,042	10	11	57	地域医療機関からの緊急診療要請対応件数(件)	1,160	123	192	247	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	外来延患者数(人)	3,922	3,464	3,684	4,841	うち小児科延患者数(人)	2,756	2,161	2,766	4,186	うち産婦人科延患者数(人)	1,166	1,303	918	655
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																	
救急車搬送件数(件)	1,042	10	11	57																																	
地域医療機関からの緊急診療要請対応件数(件)	1,160	123	192	247																																	
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																	
外来延患者数(人)	3,922	3,464	3,684	4,841																																	
うち小児科延患者数(人)	2,756	2,161	2,766	4,186																																	
うち産婦人科延患者数(人)	1,166	1,303	918	655																																	

中期目標	中期計画	実績・特に成果があった取組み等・今後の取組み																																			
<p>(3) 研究機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい治療法の開発や臨床研究への取組、先進医療の推進など、市域の医療水準の向上を図る 治験の積極的な推進 	<p>(10) 研究機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 先進医療制度や厚生労働省、文部科学省の科学研究費助成制度を利用した臨床研究や臨床試験の実施、遺伝子診断研究の取組 医師主導治験への積極的な取組 臨床研究法及びGCP省令を遵守し、質の高い研究活動の推進 	<p>■ 災害等発生時の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 常時、日本DMAT2隊及び大阪府DMAT1隊が編成可能 新型コロナウイルス感染症発生に伴うDMATの派遣【R2年度】 <table border="1" data-bbox="1339 359 2047 497"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災訓練等の実施回数(総合)(回)</td> <td>18</td> <td>15</td> <td>18</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>防災訓練等の実施回数(十三)(回)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 研究機能の充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 革新的がん医療の実用化や難治性疾患等実用化に向けての多施設共同研究を実施 遺伝子診療部門で臨床遺伝専門医と遺伝子解析装置を保有し、臨床各科の遺伝子診療のニーズに応えるほか、院外からの診療・カウンセリング依頼にも対応 <p>■ 「医師主導治験」への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床研究センターにおいて、臨床試験(介入試験)や治験研究を通じて、病態解明や診断と治療に直結する研究を実施 <p>■ 臨床研究法及びGCP省令の遵守と質の高い研究活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「臨床研究倫理委員会」を中心に、臨床研究法及びGCP省令に定められた実施基準を遵守し、質の高い研究活動を推進 「臨床研究の倫理に関する研修会」を対象者向けに開催 <table border="1" data-bbox="1339 1078 2047 1275"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研究(新規)実施件数(総合)(件)</td> <td>210</td> <td>208</td> <td>161</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>企業治験実施件数(総合)(件)</td> <td>73</td> <td>85</td> <td>91</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>医師主導治験実施件数(総合)(件)</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	防災訓練等の実施回数(総合)(回)	18	15	18	20	防災訓練等の実施回数(十三)(回)	3	3	2	17	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	臨床研究(新規)実施件数(総合)(件)	210	208	161	170	企業治験実施件数(総合)(件)	73	85	91	91	医師主導治験実施件数(総合)(件)	20	20	20	14
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																	
防災訓練等の実施回数(総合)(回)	18	15	18	20																																	
防災訓練等の実施回数(十三)(回)	3	3	2	17																																	
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																	
臨床研究(新規)実施件数(総合)(件)	210	208	161	170																																	
企業治験実施件数(総合)(件)	73	85	91	91																																	
医師主導治験実施件数(総合)(件)	20	20	20	14																																	

中期目標	中期計画	実績・特に成果があった取組み等・今後の取組み																														
<p>2 信頼される温かな医療の実践</p> <p>(1) 医療安全対策等の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全対策の徹底、院内感染防止対策の確実な実施 <p>(2) 医療の標準化</p> <ul style="list-style-type: none"> クリニカルパスの活用による、質の高い医療の提供 <p>(3) チーム医療の実践及び専門性の発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 各職種の連携によるチーム医療の推進、QOL向上への取組 	<p>2 信頼される温かな医療の実践</p> <p>(1) 医療安全対策等の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療事故の発生予防と再発防止への取組及び院内感染予防策の実施 <p>(2) 医療の標準化</p> <ul style="list-style-type: none"> クリニカルパスの作成、適用及び見直しを推進し、医療の標準化の取組 <p>(3) チーム医療の実践及び専門性の発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師、看護師等の連携によるチーム医療の推進、QOL向上への取組 	<p>■ 医療安全に関する取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合医療センターでは専従、十三市民病院では専任の医療安全管理者を配置し、院内全体で医療安全活動の実施 「インシデント報告システム」により、迅速な情報の収集及び共有を行い、原因を分析して医療事故発生予防及び再発防止に取組む 医療事故公表基準に基づき、各病院のホームページにて各病院の「医療事故の状況」を公表 予期せぬ死亡を疑われる症例の発生時に実施する死亡時画像診断(Ai)を開始【R元年度】 <table border="1" data-bbox="1335 587 2047 727"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデントレポート報告件数(総合)(件)</td> <td>6,158</td> <td>4,684</td> <td>6,550</td> <td>7,072</td> </tr> <tr> <td>インシデントレポート報告件数(十三)(件)</td> <td>1,230</td> <td>679</td> <td>899</td> <td>941</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ クリニカルパスの運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 運用マニュアル・申請書の改定、サポートセンターの開設等の活動により、クリニカルパスの新規作成・改定を推進 <table border="1" data-bbox="1335 916 2047 1056"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス適用率(総合)(%)</td> <td>54.1</td> <td>49.8</td> <td>53.3</td> <td>54.8</td> </tr> <tr> <td>クリニカルパス適用率(十三)(%)</td> <td>83.5</td> <td>96.2</td> <td>96.4</td> <td>92.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ チーム医療の推進・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 各病院において多数のチームを編成し、様々な専門職が連携・協力して活動し、QOL(患者の生活の質)の向上を図る 	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	インシデントレポート報告件数(総合)(件)	6,158	4,684	6,550	7,072	インシデントレポート報告件数(十三)(件)	1,230	679	899	941	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	クリニカルパス適用率(総合)(%)	54.1	49.8	53.3	54.8	クリニカルパス適用率(十三)(%)	83.5	96.2	96.4	92.4
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																												
インシデントレポート報告件数(総合)(件)	6,158	4,684	6,550	7,072																												
インシデントレポート報告件数(十三)(件)	1,230	679	899	941																												
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																												
クリニカルパス適用率(総合)(%)	54.1	49.8	53.3	54.8																												
クリニカルパス適用率(十三)(%)	83.5	96.2	96.4	92.4																												

中期目標	中期計画	実績・特に成果があった取組み等・今後の取組み																																																																																					
<p>(4) 意思決定支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インフォームド・コンセントの徹底 ・ セカンドオピニオンや医療相談の実施 	<p>(4) 意思決定支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インフォームド・コンセントの理念に基づき、患者・家族に対する意思決定の支援 ・ セカンドオピニオンや相談支援の充実の取組 	<table border="1" data-bbox="1335 225 2047 927"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療チーム数(総合)</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>医療チーム数(十三)</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>薬剤管理指導件数(患者数)(総合)(件)</td> <td>28,927</td> <td>34,227</td> <td>32,478</td> <td>33,230</td> </tr> <tr> <td>薬剤管理指導件数(患者数)(十三)(件)</td> <td>3,967</td> <td>507</td> <td>830</td> <td>2,402</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指導件数(入院・外来)(総合)(件)</td> <td>3,813</td> <td>4,820</td> <td>5,026</td> <td>4,888</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指導件数(入院・外来)(十三)(件)</td> <td>2,134</td> <td>419</td> <td>784</td> <td>1,242</td> </tr> <tr> <td>CT検査件数(総合)(件)</td> <td>38,386</td> <td>38,356</td> <td>37,541</td> <td>38,955</td> </tr> <tr> <td>CT検査件数(十三)(件)</td> <td>7,445</td> <td>2,890</td> <td>3,962</td> <td>3,941</td> </tr> <tr> <td>超音波検査件数(心臓)(総合)(件)</td> <td>9,468</td> <td>9,213</td> <td>9,401</td> <td>9,751</td> </tr> <tr> <td>超音波検査件数(心臓)(十三)(件)</td> <td>663</td> <td>143</td> <td>267</td> <td>327</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション実施件数(総合)(件)</td> <td>120,415</td> <td>111,262</td> <td>115,994</td> <td>107,507</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション実施件数(十三)(件)</td> <td>16,497</td> <td>4,675</td> <td>7,560</td> <td>9,243</td> </tr> <tr> <td>高度医療機器対応件数(総合)(件)</td> <td>15,345</td> <td>17,858</td> <td>20,193</td> <td>22,582</td> </tr> <tr> <td>医療機器定期点検実施件数(十三)(件)</td> <td>644</td> <td>278</td> <td>652</td> <td>1,126</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ インフォームド・コンセントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各病院においてインフォームド・コンセントの徹底に努め、説明文書及び同意文書の点検・工夫を実施 <p>■ セカンドオピニオン相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者等が病状や治療内容、診断や今後の治療方針について納得して意思決定できるようセカンドオピニオンを実施 ・ 総合医療センターにおいて、対面対応に加え、感染対策としてオンラインによるセカンドオピニオンを導入【R2年度】 <table border="1" data-bbox="1335 1310 2047 1390"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セカンドオピニオン相談件数(総合)(件)</td> <td>111</td> <td>94</td> <td>109</td> <td>116</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	医療チーム数(総合)	17	17	17	17	医療チーム数(十三)	12	13	13	15	薬剤管理指導件数(患者数)(総合)(件)	28,927	34,227	32,478	33,230	薬剤管理指導件数(患者数)(十三)(件)	3,967	507	830	2,402	栄養食事指導件数(入院・外来)(総合)(件)	3,813	4,820	5,026	4,888	栄養食事指導件数(入院・外来)(十三)(件)	2,134	419	784	1,242	CT検査件数(総合)(件)	38,386	38,356	37,541	38,955	CT検査件数(十三)(件)	7,445	2,890	3,962	3,941	超音波検査件数(心臓)(総合)(件)	9,468	9,213	9,401	9,751	超音波検査件数(心臓)(十三)(件)	663	143	267	327	リハビリテーション実施件数(総合)(件)	120,415	111,262	115,994	107,507	リハビリテーション実施件数(十三)(件)	16,497	4,675	7,560	9,243	高度医療機器対応件数(総合)(件)	15,345	17,858	20,193	22,582	医療機器定期点検実施件数(十三)(件)	644	278	652	1,126	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	セカンドオピニオン相談件数(総合)(件)	111	94	109	116
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																																																																			
医療チーム数(総合)	17	17	17	17																																																																																			
医療チーム数(十三)	12	13	13	15																																																																																			
薬剤管理指導件数(患者数)(総合)(件)	28,927	34,227	32,478	33,230																																																																																			
薬剤管理指導件数(患者数)(十三)(件)	3,967	507	830	2,402																																																																																			
栄養食事指導件数(入院・外来)(総合)(件)	3,813	4,820	5,026	4,888																																																																																			
栄養食事指導件数(入院・外来)(十三)(件)	2,134	419	784	1,242																																																																																			
CT検査件数(総合)(件)	38,386	38,356	37,541	38,955																																																																																			
CT検査件数(十三)(件)	7,445	2,890	3,962	3,941																																																																																			
超音波検査件数(心臓)(総合)(件)	9,468	9,213	9,401	9,751																																																																																			
超音波検査件数(心臓)(十三)(件)	663	143	267	327																																																																																			
リハビリテーション実施件数(総合)(件)	120,415	111,262	115,994	107,507																																																																																			
リハビリテーション実施件数(十三)(件)	16,497	4,675	7,560	9,243																																																																																			
高度医療機器対応件数(総合)(件)	15,345	17,858	20,193	22,582																																																																																			
医療機器定期点検実施件数(十三)(件)	644	278	652	1,126																																																																																			
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																																																																			
セカンドオピニオン相談件数(総合)(件)	111	94	109	116																																																																																			

中期目標	中期計画	実績・特に成果があった取組み等・今後の取組み															
<p>(5) 医療倫理観の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療倫理観向上への取組 <p>(6) 患者の満足度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内環境等の快適性向上や待ち時間の短縮、職員の接遇向上、ボランティアとの協働の取組 	<p>(5) 医療倫理観の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療倫理観の向上を図るため、カンファレンスや研修の実施 <p>(6) 患者の満足度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者満足度調査や患者意見箱などを通じた、患者ニーズの把握と改善策の実施 ボランティアとの連携による患者サービス向上への取組 外来診察における待ち時間対策や院内環境等の快適性向上の取組 職員の接遇向上への取組 	<p>■ 医療倫理観の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 多職種倫理カンファレンスの実施に取組み、医療倫理観の向上に努める 十三市民病院では、死亡例にデスカンファレンスでの振り返りを行うことで、倫理観の向上を図る <table border="1" data-bbox="1335 424 2047 563"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>倫理カンファレンス等 開催回数(総合)(回)</td> <td>683</td> <td>1,041</td> <td>574</td> <td>773</td> </tr> <tr> <td>倫理カンファレンス等 開催回数(十三)(回)</td> <td>63</td> <td>48</td> <td>149</td> <td>204</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 患者満足度調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> R2年度より新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた患者満足度調査を、WEBでの回答を併用し、感染拡大防止に取組み再開【R4年度】 十三市民病院において、患者サービスの向上に向け、部署個別での取組みを行う「業務改善シートを用いた課題改善の取組」を計画し改善を図る コロナ禍でも患者・家族ニーズに応じたボランティア活動の実施 ボランティア代表者との意見交換、オンラインによる訪問活動の実施 総合医療センター外来ロビーの待合椅子の更新及びレイアウト変更【R元年度】 オンライン面会の実施【R2年度】 院内無料Wi-Fiスポットの設置【総合医療センター：R2年度、十三市民病院：R3年度】 WEB経由で診察予約変更を受け付ける仕組みの構築(総合医療センター)【R3年度】 病院案内板のデジタルサイネージ化(十三市民病院)【R元年度】 患者無料送迎バスのルート拡大、停留所の追加・変更等の実施(十三市民病院)【R3年度】 患者サービス向上に向けた取組みと改善活動の実施 特に成果の高い部署を選出し、成果発表を開催 接遇の向上に向け、接遇改善委員会を設置し、職員研修や接遇広報を企画・実施 	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	倫理カンファレンス等 開催回数(総合)(回)	683	1,041	574	773	倫理カンファレンス等 開催回数(十三)(回)	63	48	149	204
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績													
倫理カンファレンス等 開催回数(総合)(回)	683	1,041	574	773													
倫理カンファレンス等 開催回数(十三)(回)	63	48	149	204													

中期目標	中期計画	実績・特に成果があった取組み等・今後の取組み																																																																	
<p>3 地域医療連携の強化及び地域への貢献</p> <p>(1) 地域医療機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介率や逆紹介率向上への取組 高度医療機器の共同利用の促進、医療従事者の育成などによる、地域医療機関との連携推進 <p>(2) 全世代を対象とする地域包括ケアシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの中で、全世代を対象とした、求められる医療機能の発揮 	<p>3 地域医療連携の強化及び地域への貢献</p> <p>(1) 地域医療機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介率、逆紹介率の向上 地域の医療従事者の育成や地域医療機関との高度医療機器の共同利用の促進 <p>(2) 全世代を対象とする地域包括ケアシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> 全世代を対象に医療機関、訪問看護施設及び介護サービス施設などとの連携 退院から在宅への円滑移行に向けた、入院前または入院初期からの支援 	<table border="1" data-bbox="1335 225 2047 480"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度調査結果(入院)(総合)(%)</td> <td>95.0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>96.1</td> </tr> <tr> <td>患者満足度調査結果(入院)(十三)(%)</td> <td>83.2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>患者満足度調査結果(外来)(総合)(%)</td> <td>89.5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>90.8</td> </tr> <tr> <td>患者満足度調査結果(外来)(十三)(%)</td> <td>71.2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 各病院で導入している地域医療連携システム等、ICTを活用した地域医療連携の推進 積極的な地域の医療機関訪問活動の実施による連携強化 地域連携パスの運用や、医師会との症例検討会の実施 地域医師から直接緊急診療要請できる仕組みの構築 <table border="1" data-bbox="1335 847 2047 991"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率(総合)(%)</td> <td>81.0</td> <td>84.4</td> <td>84.4</td> <td>85.2</td> </tr> <tr> <td>紹介率(十三)(%)</td> <td>52.8</td> <td>30.4</td> <td>29.6</td> <td>37.0</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率(総合)(%)</td> <td>108.1</td> <td>136.7</td> <td>130.4</td> <td>122.1</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率(十三)(%)</td> <td>75.4</td> <td>146.7</td> <td>44.1</td> <td>48.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 地域包括ケアシステムの中での役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療機関の医療機能や転院・在宅調整に関わる課題を明確にし、前方・後方支援の連携を強化 総合医療センターにおいて、都島区の26施設による「さくらネットワーク」会議等を開催し、顔の見える連携を強化 患者の入院前から退院までの流れを一貫して管理することでの、退院を見据えた入退院支援としてPFMを導入し、支援対象を年々拡充 <table border="1" data-bbox="1335 1342 2047 1430"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PFM取扱件数(総合)(件)</td> <td>8,654</td> <td>8,678</td> <td>9,835</td> <td>9,858</td> </tr> <tr> <td>PFM取扱件数(十三)(件)</td> <td>490</td> <td>391</td> <td>809</td> <td>1,043</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	患者満足度調査結果(入院)(総合)(%)	95.0	-	-	96.1	患者満足度調査結果(入院)(十三)(%)	83.2	-	-	-	患者満足度調査結果(外来)(総合)(%)	89.5	-	-	90.8	患者満足度調査結果(外来)(十三)(%)	71.2	-	-	-	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	紹介率(総合)(%)	81.0	84.4	84.4	85.2	紹介率(十三)(%)	52.8	30.4	29.6	37.0	逆紹介率(総合)(%)	108.1	136.7	130.4	122.1	逆紹介率(十三)(%)	75.4	146.7	44.1	48.8	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	PFM取扱件数(総合)(件)	8,654	8,678	9,835	9,858	PFM取扱件数(十三)(件)	490	391	809	1,043
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																																															
患者満足度調査結果(入院)(総合)(%)	95.0	-	-	96.1																																																															
患者満足度調査結果(入院)(十三)(%)	83.2	-	-	-																																																															
患者満足度調査結果(外来)(総合)(%)	89.5	-	-	90.8																																																															
患者満足度調査結果(外来)(十三)(%)	71.2	-	-	-																																																															
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																																															
紹介率(総合)(%)	81.0	84.4	84.4	85.2																																																															
紹介率(十三)(%)	52.8	30.4	29.6	37.0																																																															
逆紹介率(総合)(%)	108.1	136.7	130.4	122.1																																																															
逆紹介率(十三)(%)	75.4	146.7	44.1	48.8																																																															
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																																															
PFM取扱件数(総合)(件)	8,654	8,678	9,835	9,858																																																															
PFM取扱件数(十三)(件)	490	391	809	1,043																																																															

中期目標	中期計画	実績・特に成果があった取組み等・今後の取組み															
<p>(3) 市民への保健医療情報の提供・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民公開講座の開催、ホームページの活用など積極的な保健医療情報の発信 <p>4 優れた医療人の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育研修機能の充実と優れた医療人の育成 <ul style="list-style-type: none"> 勤務制度の整備、「働き方改革」の実践による働きやすい職場づくりの推進と優れた医療人の確保 	<p>(3) 市民への保健医療情報の提供・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民公開講座等の定期的な開催 ホームページによる積極的な情報発信 <p>4 優れた医療人の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育研修機能の充実やキャリア開発支援など人材育成への取組 若手医師の育成に向けた研修プログラムの実施 職員のライフスタイルやライフステージに応じた勤務制度や多様な雇用形態の整備・改善への取組 優秀な医療人材の確保に向けた採用活動の促進の取組 	<p>■ 保健医療情報の積極的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防・啓蒙活動・医療機能教育にも注力し、地域包括支援センターと共催し、講演や予防体操を交えた形で開催するなど、開催内容の充実 オンラインによる市民公開講座や各種セミナー・講座の開催【R2年度～】 病院ホームページの情報掲載・更新による情報発信の充実 <table border="1" data-bbox="1335 456 2047 596"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民対象の公開講座開催件数(総合)(件)</td> <td>15</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>市民対象の公開講座開催件数(十三)(件)</td> <td>15</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 優れた医療人の育成・確保への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 市域における医療スタッフの資質向上に貢献する目的で、看護系大学等から実習を受入れ 総合医療センター職員図書室を全面改修し、リニューアルオープン【R3年度】 研修指導体制の充実を図るべく、指導医を計画的に「指導医養成講習会」に受講させ、指導環境の改善に向けた取組みを実施 「キャリア形成支援推進委員会」を設置・活用し、専門職の資格取得や院外研修を職種横断的に計画的に支援 特定行為研修指定研修機関として指定(総合医療センター)【R3年度】 働きやすい職場環境づくりを進めるため、短時間勤務制度や自宅訪問型病児保育を継続運用 在職時に培った知識や経験を引き続き効果的に活用するため、定年退職者を再雇用し適材適所に配置 看護職員等処遇改善手当の創設【R3年度】 NPO法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価の更新認定(総合医療センター)【R3年度】 WEBでの就職説明会の開催や民間企業が主催する合同就職説明会への参加、インターンシップの受入れなど採用PR活動の強化 	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	市民対象の公開講座開催件数(総合)(件)	15	6	6	5	市民対象の公開講座開催件数(十三)(件)	15	3	2	7
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績													
市民対象の公開講座開催件数(総合)(件)	15	6	6	5													
市民対象の公開講座開催件数(十三)(件)	15	3	2	7													

中期目標	中期計画	実績・特に成果があった取組み等・今後の取組み															
		<table border="1" data-bbox="1335 225 2047 368"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期臨床研修医競争倍率(総合)</td> <td>5.0</td> <td>5.0</td> <td>4.8</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>看護職離職率 ※機構全体(%)</td> <td>7.9</td> <td>7.0</td> <td>8.1</td> <td>8.5</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1301 459 1574 483">【特に成果があった取組み等】</p> <ul data-bbox="1312 491 2040 563" style="list-style-type: none"> 中期目標の達成に向け、優秀な人材の確保・育成に取組み、各病院等においてはその専門性を活かして診療機能のより一層の充実・強化や患者サービスの向上、地域医療連携の推進、業務運営の効率化などに取組んだ。 <p data-bbox="1312 592 1514 616">・ 診療機能の充実等</p> <p data-bbox="1339 624 1525 647">【総合医療センター】</p> <p data-bbox="1339 655 1872 679">内視鏡手術支援ロボットの入れ替え及び2台体制への移行</p> <p data-bbox="1339 687 1547 711">がんゲノム医療の充実</p> <p data-bbox="1339 719 2040 767">夜間ホスピタルサポーターを導入し、人員が手薄になる準夜勤務帯の看護職員の負担軽減を実施</p> <p data-bbox="1339 791 1491 815">【十三市民病院】</p> <p data-bbox="1339 823 1787 847">新型コロナウイルス感染症専門病院としての運営</p> <p data-bbox="1301 919 1451 943">【今後の取組み】</p> <ul data-bbox="1312 951 2040 1262" style="list-style-type: none"> 医師をはじめとする働き方改革への対応 総合医療センターにおいて、第1期中期目標期間に整備した手術室、救急・重症病棟、外来化学療法室等のより効果的な活用 十三市民病院において、新型コロナウイルス感染症専門病院解除後の早期回復 大阪府がん診療拠点病院としての取組み推進 地域医療支援病院の指定に向けた取組み 住之江診療所の運営 中期目標期間最終年度においても、政策医療や高度・先進医療の提供及び医療水準の向上を図り、患者・市民の信頼に引き続き応えていく。 	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	初期臨床研修医競争倍率(総合)	5.0	5.0	4.8	6.0	看護職離職率 ※機構全体(%)	7.9	7.0	8.1	8.5
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績													
初期臨床研修医競争倍率(総合)	5.0	5.0	4.8	6.0													
看護職離職率 ※機構全体(%)	7.9	7.0	8.1	8.5													

第3 業務運営の改善及び効率化並びに財務内容の改善に関する事項		事業年度評価結果					中期目標期間の見込評価
		R元	R2	R3	R4	R5	
中期目標	中期計画	A	A	A	A	—	A
<p>1 自律性・機動性・透明性の高い組織体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 自律性・機動性・透明性の高い組織運営の取組 <p>・ 医療法をはじめとする関係法令の遵守、業務執行におけるコンプライアンス徹底の取組の推進</p> <p>2 経営基盤の安定化</p> <p>(1) 収入の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療報酬改定に迅速に対応し、診療報酬の請求漏れの防止、減点対策等による確実な収入の確保 	<p>1 自律性・機動性・透明性の高い組織体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方独立行政法人制度のメリットを活かし、医療や病院経営をめぐる環境変化、診療報酬改定や患者動向に迅速かつ柔軟に対応 <p>・ 医療法をはじめとする関係法令の遵守、関係規程の整備と適切な運用</p> <p>・ 業務執行におけるコンプライアンスの徹底、意識啓発のための取組の実施</p> <p>2 経営基盤の安定化</p> <p>(1) 収入の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療報酬改定への迅速な対応による、増収のための体制の充実及び適正化、請求もれや査定減の防止対策の実施 	<p>【実績】</p> <p>■ 組織体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 理事会や運営会議をはじめとした各種会議を通じ、経営面や医療面における課題抽出や改善等に努め、理事長のリーダーシップのもと柔軟な組織運営 各病院においては、自院の経営管理や医療内容等に係る検討、その他病院運営に係る重要事項の意思決定を行う会議体を設置し、定期的に開催 役員(理事)の増員による外部知見の導入及び関係機関との連携強化【R2年度】 病院長補佐ポストの再設置による組織マネジメントの強化【R4年度】 経営改善の推進や実現に向け、改革推進室を設置【R2年度】 <p>■ コンプライアンスの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係法令の遵守、各種規程の随時改正・整備による適切な運用 コンプライアンスやハラスメントに関する研修を定期の全職員研修に組み込む形で開催 入札及び契約の適正を期するため、契約監視委員会の設置、開催【R3年度】 監事を2名体制にするなど、コンプライアンス体制の強化【R4年度】 監事による業務監査及び会計監査人による会計監査の実施 <p>■ 診療報酬改定への迅速な対応、増収のための体制充実・適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療・看護体制の充実による上位施設基準の積極的な取得【総合医療センター】 内視鏡手術支援ロボットを用いた新規手術術式の届出【R元年度～】 診療報酬における新型コロナウイルス感染症臨時・特例措置への対応【R2年度～】 加算・指導料に関して、保険診療委員会にて算定率向上に向けた取組み【R2年度～】 夜間急性期看護補助体制加算の新規届出【R4年度～】 【十三市民病院】 看護職員夜間16:1配置加算1、認知症ケア加算2、入退院支援加算、入院時支援加算の取得届出【R元年度】 診療報酬における新型コロナウイルス感染症臨時・特例措置への対応【R2年度～】 					

中期目標	中期計画	実績・特に成果があった取組み等・今後の取組み																																																																																								
<p>(2) 給与費比率の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 給与費比率の数値目標の設定、職員配置の適正化 	<p>・未収金対策、未収金の早期回収の取組</p> <p>(2) 給与費比率の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の適正配置による給与費の適正化 <table border="1" data-bbox="801 1209 1249 1294"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>第2期計画目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">給与費比率(%)</td> <td>総合医療センター</td> <td>52.0</td> </tr> <tr> <td>十三市民病院</td> <td>59.9</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	第2期計画目標	給与費比率(%)	総合医療センター	52.0	十三市民病院	59.9	<p>■ 請求もれや査定減への対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 勉強会等による診療報酬請求の精度の向上、入力誤り・入力漏れの点検の強化 <p>■ 未収金対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 債権管理センター(専従職員)による未収債権の当初からの積極的な介入及び弁護士法人の活用により効果的・効率的に回収 支払能力があるにも関わらず医療費を支払わない態度を示す「悪意があると見做せる」患者に対し、一定のルールで「診療不応需」とするルールを構築 公費医療証が期限切れとなる前に申請を促すため、定期的に連絡するしくみを整備 <table border="1" data-bbox="1335 587 2047 1007"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新入院患者数(総合)(人)</td> <td>26,888</td> <td>23,474</td> <td>24,093</td> <td>24,313</td> </tr> <tr> <td>新入院患者数(十三)(人)</td> <td>5,326</td> <td>1,642</td> <td>2,002</td> <td>2,155</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価(総合)(円)</td> <td>88,780</td> <td>97,143</td> <td>102,540</td> <td>103,532</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価(十三)(円)</td> <td>47,889</td> <td>62,452</td> <td>75,512</td> <td>74,499</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価(総合)(円)</td> <td>22,615</td> <td>24,799</td> <td>25,288</td> <td>25,471</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価(十三)(円)</td> <td>11,536</td> <td>10,055</td> <td>11,610</td> <td>12,158</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(総合)(日)</td> <td>9.5</td> <td>9.1</td> <td>9.1</td> <td>9.0</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(十三)(日)</td> <td>14.6</td> <td>11.3</td> <td>10.8</td> <td>10.3</td> </tr> <tr> <td>病床稼働率(総合)(%)</td> <td>85.2</td> <td>83.3</td> <td>83.1</td> <td>82.8</td> </tr> <tr> <td>病床稼働率(十三)(%)</td> <td>72.8</td> <td>41.6</td> <td>43.1</td> <td>38.6</td> </tr> <tr> <td>患者負担金徴収率(総合)(%)</td> <td>99.4</td> <td>99.5</td> <td>99.3</td> <td>99.1</td> </tr> <tr> <td>患者負担金徴収率(十三)(%)</td> <td>99.4</td> <td>99.8</td> <td>98.7</td> <td>99.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 給与費の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者の需要見込みや職員の確保見込み、医療の質の向上、医療安全の観点、患者サービス向上、費用対効果等を踏まえた体制を整備 費用対効果等を踏まえた職員配置の実施 <table border="1" data-bbox="1335 1278 2047 1362"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費比率(総合)(%)</td> <td>49.5</td> <td>52.3</td> <td>50.2</td> <td>49.5</td> </tr> <tr> <td>給与費比率(十三)(%)</td> <td>62.8</td> <td>186.2</td> <td>140.5</td> <td>130.5</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	新入院患者数(総合)(人)	26,888	23,474	24,093	24,313	新入院患者数(十三)(人)	5,326	1,642	2,002	2,155	入院診療単価(総合)(円)	88,780	97,143	102,540	103,532	入院診療単価(十三)(円)	47,889	62,452	75,512	74,499	外来診療単価(総合)(円)	22,615	24,799	25,288	25,471	外来診療単価(十三)(円)	11,536	10,055	11,610	12,158	平均在院日数(総合)(日)	9.5	9.1	9.1	9.0	平均在院日数(十三)(日)	14.6	11.3	10.8	10.3	病床稼働率(総合)(%)	85.2	83.3	83.1	82.8	病床稼働率(十三)(%)	72.8	41.6	43.1	38.6	患者負担金徴収率(総合)(%)	99.4	99.5	99.3	99.1	患者負担金徴収率(十三)(%)	99.4	99.8	98.7	99.2	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	給与費比率(総合)(%)	49.5	52.3	50.2	49.5	給与費比率(十三)(%)	62.8	186.2	140.5	130.5
区分	病院名	第2期計画目標																																																																																								
給与費比率(%)	総合医療センター	52.0																																																																																								
	十三市民病院	59.9																																																																																								
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																																																																						
新入院患者数(総合)(人)	26,888	23,474	24,093	24,313																																																																																						
新入院患者数(十三)(人)	5,326	1,642	2,002	2,155																																																																																						
入院診療単価(総合)(円)	88,780	97,143	102,540	103,532																																																																																						
入院診療単価(十三)(円)	47,889	62,452	75,512	74,499																																																																																						
外来診療単価(総合)(円)	22,615	24,799	25,288	25,471																																																																																						
外来診療単価(十三)(円)	11,536	10,055	11,610	12,158																																																																																						
平均在院日数(総合)(日)	9.5	9.1	9.1	9.0																																																																																						
平均在院日数(十三)(日)	14.6	11.3	10.8	10.3																																																																																						
病床稼働率(総合)(%)	85.2	83.3	83.1	82.8																																																																																						
病床稼働率(十三)(%)	72.8	41.6	43.1	38.6																																																																																						
患者負担金徴収率(総合)(%)	99.4	99.5	99.3	99.1																																																																																						
患者負担金徴収率(十三)(%)	99.4	99.8	98.7	99.2																																																																																						
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																																																																						
給与費比率(総合)(%)	49.5	52.3	50.2	49.5																																																																																						
給与費比率(十三)(%)	62.8	186.2	140.5	130.5																																																																																						

中期目標	中期計画	実績・特に成果があった取組み等・今後の取組み																																																								
<p>(3) 材料費比率の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料費比率の数値目標の設定、費用の抑制 <p>(4) 経費比率の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 経費比率の数値目標の設定、経費の削減 <p>(5) 医業収支比率等の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 医業収支比率、経常収支比率及び自己資本比率の数値目標の設定、収支改善への取組 	<p>(3) 材料費比率の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> SPD(院内物流管理システム)の効果的な活用、同種同効品の標準化の推進及び後発医薬品の採用拡大による材料費の適正化 <table border="1" data-bbox="801 389 1249 472"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>第2期計画目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">材料費比率(%)</td> <td>総合医療センター</td> <td>31.5</td> </tr> <tr> <td>十三市民病院</td> <td>19.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 経費比率の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数年契約、複合契約等の多様な契約手法の活用などによる経費の節減 <table border="1" data-bbox="801 948 1249 1031"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>第2期計画目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">経費比率(%)</td> <td>総合医療センター</td> <td>15.6</td> </tr> <tr> <td>十三市民病院</td> <td>21.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 医業収支比率等の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 医業収支比率、経常収支比率、自己資本比率の改善 	区分	病院名	第2期計画目標	材料費比率(%)	総合医療センター	31.5	十三市民病院	19.2	区分	病院名	第2期計画目標	経費比率(%)	総合医療センター	15.6	十三市民病院	21.2	<p>■ 材料費の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> SPDによる医薬品・診療材料の共同購入による材料費の削減 価格交渉による材料費の調達コストの削減 診療科別・理由別に診療材料の仕損内容を集計・周知 診療材料の全国共同購入組織への加入と標準化【R元年度～】 診療材料の廉価製品・共同購入選定品への順次切り替え <p>■ 後発医薬品の採用拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人全体で後発医薬品の採用を促進 <table border="1" data-bbox="1335 555 2047 750"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料費比率(総合)(%)</td> <td>31.2</td> <td>30.5</td> <td>31.9</td> <td>33.1</td> </tr> <tr> <td>材料費比率(十三)(%)</td> <td>20.9</td> <td>16.8</td> <td>21.0</td> <td>25.4</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品採用率(数量ベース)(総合)(%)</td> <td>87.4</td> <td>87.5</td> <td>87.2</td> <td>90.3</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品採用率(数量ベース)(十三)(%)</td> <td>88.0</td> <td>87.4</td> <td>89.6</td> <td>90.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 経費の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務の仕様内容見直しによる委託料の削減 改修前の病棟等の水栓に節水器具を取付(総合医療センター)【R2年度】 <p>■ 多様な契約手法の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般競争入札を原則に適正な契約相手方の選定を実施 競争的契約候補者決定法の活用推進 ランニングコスト付帯型入札の実施 <table border="1" data-bbox="1335 1114 2047 1197"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経費比率(総合)(%)</td> <td>14.5</td> <td>15.2</td> <td>15.0</td> <td>14.3</td> </tr> <tr> <td>経費比率(十三)(%)</td> <td>23.5</td> <td>74.1</td> <td>58.5</td> <td>54.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 医業収支比率等の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 月次決算を作成し、計画や前年度実績との比較、目標の進捗確認、経営状況の整理・分析などを実施 	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	材料費比率(総合)(%)	31.2	30.5	31.9	33.1	材料費比率(十三)(%)	20.9	16.8	21.0	25.4	後発医薬品採用率(数量ベース)(総合)(%)	87.4	87.5	87.2	90.3	後発医薬品採用率(数量ベース)(十三)(%)	88.0	87.4	89.6	90.1	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	経費比率(総合)(%)	14.5	15.2	15.0	14.3	経費比率(十三)(%)	23.5	74.1	58.5	54.7
区分	病院名	第2期計画目標																																																								
材料費比率(%)	総合医療センター	31.5																																																								
	十三市民病院	19.2																																																								
区分	病院名	第2期計画目標																																																								
経費比率(%)	総合医療センター	15.6																																																								
	十三市民病院	21.2																																																								
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																																						
材料費比率(総合)(%)	31.2	30.5	31.9	33.1																																																						
材料費比率(十三)(%)	20.9	16.8	21.0	25.4																																																						
後発医薬品採用率(数量ベース)(総合)(%)	87.4	87.5	87.2	90.3																																																						
後発医薬品採用率(数量ベース)(十三)(%)	88.0	87.4	89.6	90.1																																																						
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																																						
経費比率(総合)(%)	14.5	15.2	15.0	14.3																																																						
経費比率(十三)(%)	23.5	74.1	58.5	54.7																																																						

中期目標	中期計画	実績・特に成果があった取組み等・今後の取組み																																														
	<table border="1" data-bbox="801 225 1245 389"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>第2期計画目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医業収支比率(%)</td> <td>総合医療センター</td> <td>84.5</td> </tr> <tr> <td>十三市民病院</td> <td>86.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">経常収支比率(%)</td> <td>総合医療センター</td> <td>85.1</td> </tr> <tr> <td>十三市民病院</td> <td>85.0</td> </tr> <tr> <td>自己資本比率(%)</td> <td>※ 機構全体</td> <td>1.7</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	第2期計画目標	医業収支比率(%)	総合医療センター	84.5	十三市民病院	86.3	経常収支比率(%)	総合医療センター	85.1	十三市民病院	85.0	自己資本比率(%)	※ 機構全体	1.7	<table border="1" data-bbox="1335 225 2047 533"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医業収支比率(総合)(%)</td> <td>90.1</td> <td>87.5</td> <td>88.5</td> <td>88.8</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率(十三)(%)</td> <td>83.3</td> <td>31.4</td> <td>39.8</td> <td>41.6</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率(総合)(%)</td> <td>91.2</td> <td>99.9</td> <td>102.0</td> <td>97.3</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率(十三)(%)</td> <td>81.8</td> <td>124.3</td> <td>117.6</td> <td>119.5</td> </tr> <tr> <td>自己資本比率 ※機構全体(%)</td> <td>4.7</td> <td>15.6</td> <td>25.0</td> <td>33.0</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1301 587 1574 611">【特に成果があった取組み等】</p> <ul data-bbox="1312 624 2047 1038" style="list-style-type: none"> ・ 中期目標の達成に向け、理事会、院内委員会等を定期的に開催し、活発な議論を展開するとともに迅速な意思決定を図った。各病院においては、業務運営の改善や効率化に向け、病院長をはじめとする病院幹部が職員に経営状況等を発信するとともに病院運営の課題を共有し、対応策の検討を行い、長期的視点に立った質の高い経営の実現に取組んだ。 ・ 各病院において在院日数の短縮化を図る中で、救急患者の積極的な受け入れや地域医療機関との連携強化による緊急入院を含む新入院患者が増加し、診療単価のアップにもつながった。 ・ 医業収支比率は、令和元年度は総合医療センターでは第2期計画目標を上回り、十三市民病院は概ね目標に達した。しかしながら、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受け、医業損益では大幅な赤字となった。純損益では新型コロナウイルス感染症関連の補助金収入により黒字となったものの、今後も厳しい経営状況が続くことが予想される。 <p data-bbox="1301 1114 1451 1137">【今後の取組み】</p> <ul data-bbox="1312 1150 2047 1262" style="list-style-type: none"> ・ 業績や課題をよりの確に把握できるKPI(Key Performance Indicator＝重要業績評価指標)を設定し、業務運営に活用 ・ 中期目標期間最終年度においても、組織体制の確立及び経営基盤の安定化に向け引き続き取組む。 	区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	医業収支比率(総合)(%)	90.1	87.5	88.5	88.8	医業収支比率(十三)(%)	83.3	31.4	39.8	41.6	経常収支比率(総合)(%)	91.2	99.9	102.0	97.3	経常収支比率(十三)(%)	81.8	124.3	117.6	119.5	自己資本比率 ※機構全体(%)	4.7	15.6	25.0	33.0
区分	病院名	第2期計画目標																																														
医業収支比率(%)	総合医療センター	84.5																																														
	十三市民病院	86.3																																														
経常収支比率(%)	総合医療センター	85.1																																														
	十三市民病院	85.0																																														
自己資本比率(%)	※ 機構全体	1.7																																														
区分	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績																																												
医業収支比率(総合)(%)	90.1	87.5	88.5	88.8																																												
医業収支比率(十三)(%)	83.3	31.4	39.8	41.6																																												
経常収支比率(総合)(%)	91.2	99.9	102.0	97.3																																												
経常収支比率(十三)(%)	81.8	124.3	117.6	119.5																																												
自己資本比率 ※機構全体(%)	4.7	15.6	25.0	33.0																																												